

なるほどのじ



学校教育担当
キャラクター
甲斐善之助

西部教育局からのお役立ち情報

今月のトピック紹介版

1月号

【めあて一まとめ・振り返りのある授業づくりの提案】

まとめにつながるキーワードを引き出す教師の発問・指示について考える！

9月号より継続して「めあて一まとめ・振り返り」のある授業づくりを特集してきました。

本号では、まとめにつながるキーワードを引き出す発問・指示のポイント等を掲載しています。小学校6年社会科と中学校1年家庭科を例に取り上げていますので、様々な教科での実践にお役立てください。

道徳科の全面実施に向けて、自校の道徳教育の目標を明確にする！ ～今年度の取組を振り返り、次年度の具体的方策につなげる～

いよいよ平成30年度から小学校で、平成31年度から中学校で「特別の教科 道徳」がスタートします。全面実施に向けて、各校で理論研修や授業研究等に取り組まれていることと思います。

本号では、次年度の計画立案に向けて、ワークショップ型校内研修ならびに道徳教育全体計画の別葉の具体例を示しました。今年度の取組を振り返り、次年度の具体的方策につなげるための参考資料として御活用ください。

特別支援教育ほっと通信

3学期に入り、支援を必要とする児童生徒のケース会議や支援会議等が多く行われることと思います。特に進学時に行われる移行支援会議は、新しい環境で児童生徒が安心して生活できるための大切な会議です。

本号では、移行支援会議のねらいや進め方のポイントを紹介しています。進学先の学校や新年度の教職員への確実な引き継ぎのためにお役立てください。

【めあて—まとめ・振り返りのある授業づくりの提案】

まとめにつながるキーワードを引き出す教師の発問・指示について考える！

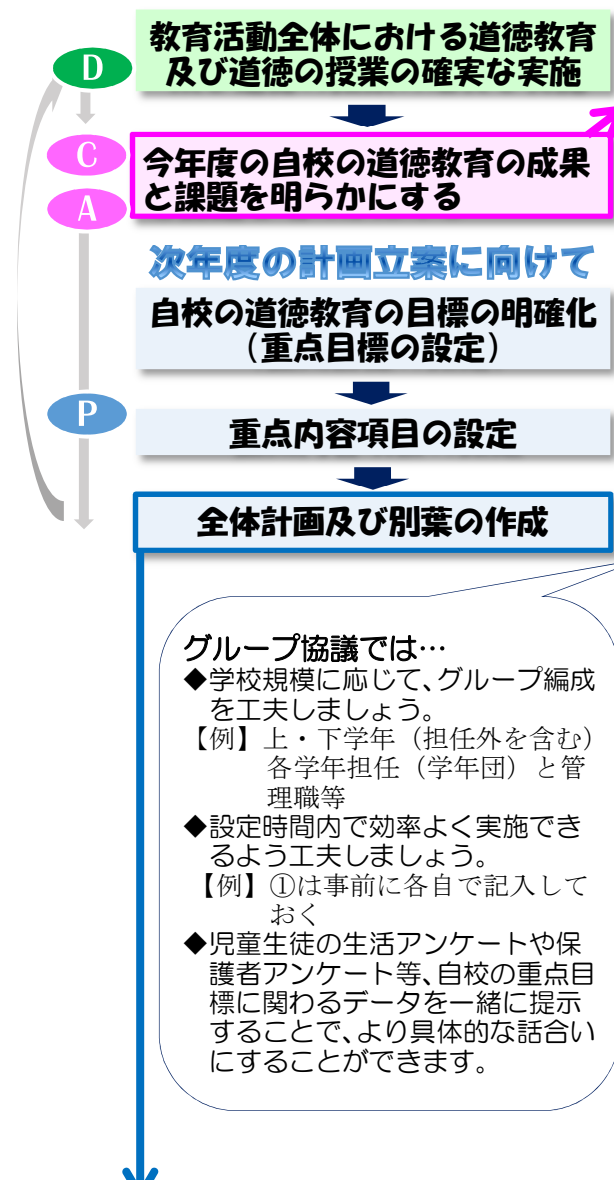
本号では、様々な教科に応用できるよう、まとめにつながるキーワードを引き出す発問・指示のポイントや具体例を掲載します。
3学期の授業づくりにぜひお役立てください。

めあて	子供の発言及び教師の発問・指示	まとめ	振り返り
<p>小学校6年 社会科 「江戸幕府と政治の安定」</p> <p>幕府が参勤交代を制度として定めた理由を考えよう。</p>	<p>大名行列の図と資料を読み取る(個人⇒グループで共有)</p> <p>幕府にとって参勤交代の制度は本当に必要だったのかな？</p> <p>すごく費用がかかってお金の無駄遣いだから必要ないと思う。</p> <p>時間も労力もたくさん使うから、大名にしたら迷惑だよな。</p> <p>大名に費用や労力を使わせて、幕府が得することは何だろう？</p> <p>大名の勢力を抑えて反抗できないようにしたんじゃないかな。そうしたら、幕府の政治が安定するよ。</p> <p>この制度で得をしたのは、本当に幕府だけだったのかな・・・？</p> <p>たくさんの人が行ったり来たりすることで得をするのは...</p>	<p>参勤交代を制度として定めることで、各藩に費用や労力を使わせ、大名の勢力を抑える仕組みを整えて、政治を安定させようとした。</p> <p>ポイント① ただ資料を読み取るだけでは子供の思考は深まりません。キーワードを引き出す鍵になる発問が必要です。子供の発言を想定し、発問や指示をあらかじめ用意しておくことが大切です。</p> <p>レベルアップ！ 既存の知識や概念を揺るがすような発問をすることで、さらに探究しようとする意欲を引き出すことができます。</p>	<p>参勤交代の制度について、授業では賛否両論ありましたが、私は武力で大名を従えるよりはいいと思います。それに、「街道や宿場町が整備されたり、江戸の文化が各地に伝わったりすることにも役立った」と資料にあったので、町民は得をしたのではないかと思います。</p>
<p>中学校1年 家庭科 「肉の調理しよう」</p> <p>ハンバーグの加熱調理のポイントについて考え、まとめよう。</p>	<p>既習事項(肉の性質)をもとに検討する(グループ)</p> <p>家でハンバーグをつくったときに、まずは表面を固めてうまみを逃がさないようにするといいと聞いたよ。</p> <p>加熱すると肉は縮んで固くなるから、表面を固めるためには強火で焼けばいいね。</p> <p>でも、表面だけ焼けて中が生焼けになるんじゃないかな。中までしっかり火を通す方法が分かる資料はないかな。</p> <p>では、ハンバーグの焼け具合が加熱方法によってどう違うかを比較した動画を見ながら考えてみましょう。</p> <p>Aはずっと強火で、焼き色は濃いけど、中心部は赤い。Bはずっと弱火だから、焼き色がつかない。Cははじめに強火で表面を固めて、その後ふたをして中火・・・なぜふたをするのかな？</p>	<p>ハンバーグの加熱調理のポイントは、まず強火で表面を固め、次にふたをして中火で中まで火を通す。厚めの形だと生焼けになりやすいので、薄めで平らな形にしておく。</p> <p>ポイント② いつも教師から資料を提示するのではなく、子供が問題解決のために必要とするタイミングで提示することも有効です。教師が子供に提示するもの、子供が必要としそうなもの、子供が自分で探すもの等に整理し、効果的に活用できるようにしましょう。</p>	<p>家でハンバーグをつくったときに、中が生焼けになった原因が分かりました。中まで火を通すために、ふたをして蒸し焼きの状態にするという方法が分かってよかったです。家で豚ロース肉を加熱したときは肉の縮み方が違っていたので、肉の種類や調理の目的に合った加熱方法が必要だということが分かりました。</p>

道徳科の全面実施に向けて、自校の道徳教育の目標を明確にする！

～今年度の取組を振り返り、次年度の具体的方策につなげる～

道徳科の全面実施に向け、本号では次年度の計画立案に向けてのPDCAサイクルについて掲載しています。職員研修を通して自校の道徳教育の目標を明確にし、重点内容項目を設定することで、道徳科で目指す子供の姿をより具体的にすることができます。3学期の校内研修の参考にしてください。



児童生徒の実態(成果・課題)を全職員で確認するためのワークショップ型校内研修(事例)

- 1 研修の目的、ゴール、方法の説明(5分)
- 2 グループ協議(40分)

- ①個人…成果(子供の成長・よさ)と課題を付箋に記入
- ②グループ…付箋を表に整理
- ③個人…目指す姿を付箋に記入
- ④グループ…付箋を表に整理

・全体計画の評価・見直しにいかすために、出てきた意見を、「今年度重点とした内容項目」と「それ以外の内容項目」という視点で整理する。

・次年度に取り組むべき具体的な方策につなげるために、目指す姿は、優先順位を付ける。

〈マトリックス表の例〉

	成果	課題	目指す姿
重点目標			
その他			

- 3 協議内容の報告(10分) ※グループ数に応じて適宜設定
- 4 全体のまとめ(5分)

・各グループでの共通事項等を確認する。

※次年度の方向性などの詳細は、道徳教育推進教師を中心とするチームで整理した後、**全職員で確認**しましょう。

※初等教育資料(2016年4月号)を参考に作成

設定時間や協議の進行具合によっては、目指す姿を具現化するための方策も④グループで協議するのもよいでしょう。校内研修の機会を使って、具体策やアイデアを出し合い、次年度の取組につなげましょう！



グループ協議では…

◆学校規模に応じて、グループ編成を工夫しましょう。

【例】上・下学年(担任外を含む)各学年担任(学年団)と管理職等

◆設定時間内で効率よく実施できるよう工夫しましょう。

【例】①は事前に各自で記入しておく

◆児童生徒の生活アンケートや保護者アンケート等、自校の重点目標に関わるデータを一緒に提示することで、より具体的な話し合いをすることができます。

〈校内研修実施のメリット〉

- ・教職員が日々行っている児童生徒の実態の見取りを、一度に全職員で共有することができる。
- ・協議した内容は、最終的に学校長が次年度の重点目標を決定する際の拠り所となる。

道徳教育全体計画の別葉(作成例)

各教科

○小学校第4学年 道徳と教科等のかかわり

内容項目、各教科	道徳	特別活動	国語	社会	算数	理科
重点目標	自分で決めた目標に向かって、強い意志をもって粘り強く努力すること。自分の考えや意見をしっかり相手に伝え、相手の理解して自分と異なる意見も大切にすること。生命の尊厳を大切に守り、生命あるものを大切にすること。					
(1) 善悪の判断、自律、自由と責任	14 全学年 ⑨ びびり ⑩ 15 ⑬					
(2) 正直、誠実	10 いっしょになって、わらったためた ⑥ 28 目ざまし時計 ⑩					
(3) 節度、節制	16 うめのみつばの四兄弟 ④					
(4) 希望の伸長	2 ぼくのへんしん ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺					
(5) 希望と勇気、努力と強い意志	2 ぼくのへんしん ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺					
(6) 希望と勇気、努力と強い意志	2 ぼくのへんしん ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺					
(7) 希望と勇気、努力と強い意志	2 ぼくのへんしん ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺					
(8) 希望と勇気、努力と強い意志	2 ぼくのへんしん ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺					
(9) 希望と勇気、努力と強い意志	2 ぼくのへんしん ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺					
(10) 希望と勇気、努力と強い意志	2 ぼくのへんしん ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺					

重点内容項目は印(※)をつけたり、色枠で示したりして一目で分かるようにする

- *教材名の左の数字(例:2、32) …教科書(東京書籍『新しいどうとく4』)の目次に記載されている指導順
- *○囲みの数字(例:④、②) …指導する時期を表す(例:④→4月)

〈内容項目で整理するメリット〉

道徳科以外の、自校の道徳教育の指導内容と教科等とのつながりが明確になる。
→道徳科における「補充・深化・統合」の視点が明確になる。

「A希望と勇気、努力と強い意志」は様々な場面で指導する機会があるわ。学年のまとめの時期でもある2月の「いつかにじをかける」では、これまでの学習や経験したことが子供の中でつながることを意図して指導しよう!

「統合」の視点

全面实施に向けて準備しておくべき事等については、「お役立ち情報」平成28年度3月号を参照してください。

西部教育局 お役立ち情報

検索





ケース会議や支援会議は、支援を必要とするすべての児童生徒が安心して学校生活を送ることができるように、関係者が情報を共有し、よりよい支援ができるようにするためのものです。今回は、移行支援会議のねらいや進め方のポイントを紹介します。

移行支援会議 —引継—

進学等の際に、どのような支援があれば、**子供たちが安心して学校生活を送ることができるのか**を確実に伝え、新しい環境でできる**支援を検討**する会議

- 【参加者】 保護者、進学先の教職員、在籍学校の教職員
- 【内容】 ①学校や家庭での児童生徒の様子や支援の内容を、進学先の教職員に伝えます。
②保護者の希望に添って、個別の教育支援計画等を引き継ぎます。

移行支援会議の進め方 (小学校から中学校への例)

テーブルの上にお花を飾ることも考えられますね！

司会進行は、児童が在籍している小学校の先生が行うのがよいでしょう。**和やかな雰囲気**で会が進行するようにしましょう。

第 回 移行支援会議

- 日時 平成 年 月 日 ()
- 場所 ○○立○○小学校

1回目は在籍している小学校で開催すると、保護者は安心されると思います。進学の時期が近くなれば、進学先の学校で行うとよいでしょう。
- 出席者 保護者
○○小学校
□□中学校
◇◇ (関係機関)

出席者の紹介(自己紹介)を行います。子供と関わりの深い方から順に行うとよいでしょう。
- 目的 (○○さんが) スムーズに中学校生活を送ることができるように、関係者が情報を共有し合い、よりよい支援ができるようにする。
- 支援の経過と様子
 - 小学校より
 - より
 - ◇◇◇◇より
 - 保護者より

関係機関が出席できない場合は、事前に関係機関から聞き取った助言等を紹介します。保護者には、家庭での様子や進学後の生活について、現在不安に感じていることなどを話してもらいましょう。保護者に話していただく内容については、じっくり考えることができるように余裕をもって事前に伝えましょう。
- 今後の方針

中学校での支援の方針を大まかに決め、できるだけ**小学校での支援が継続できるように検討**します。また、進学先の教職員は保護者や児童が安心できるように、**新年度スタートからできる支援**を丁寧に伝えましょう。

会議の目的について、出席者全員が共通理解を図りましょう。

- ・学習面での支援
- ・生活面での支援
- ・社会性・対人関係面での支援 等

【個人情報保護】

個人情報が流出しないように、レジュメ等は保存用を除いて廃棄するなどの対応が必要です。

【確実に新年度の教職員へ引継ぐために】

進学先の学校は、「個人ファイル」を作成し、引継ぎ内容の記録用紙等を保存します。また、新年度の教職員に確実に伝わるように、**共有の仕方についても校内での工夫【ほっと通信(10月号参照)】**が必要です。